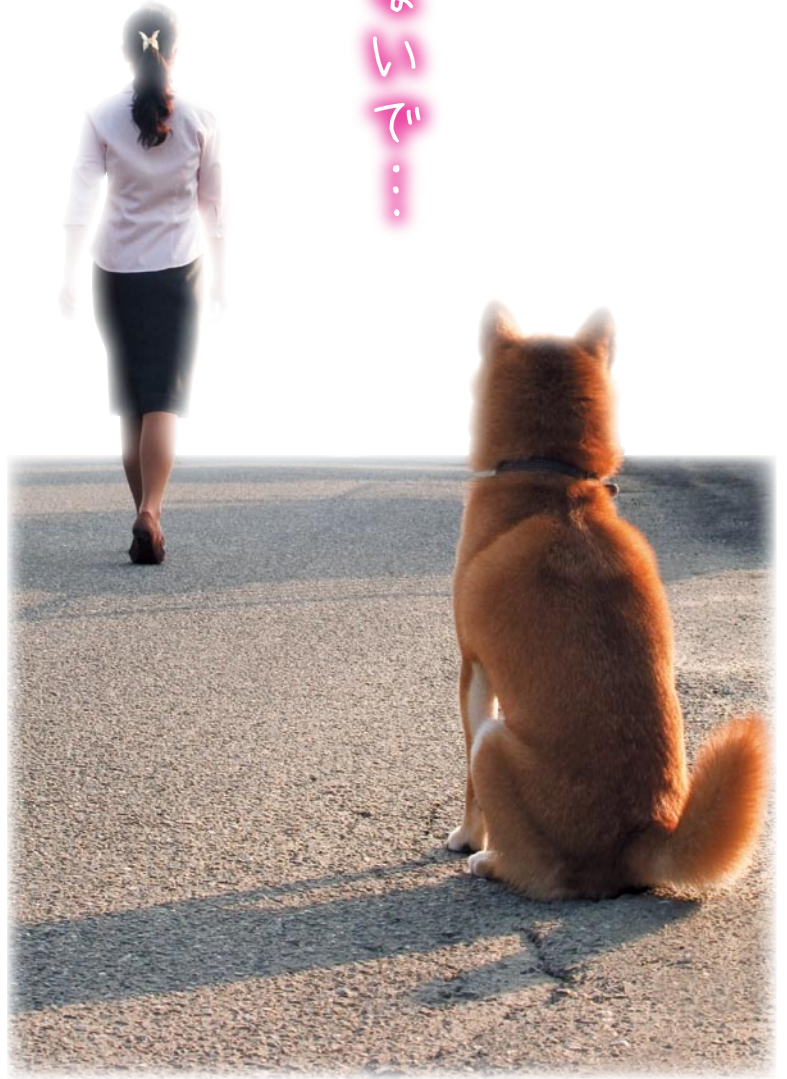


捨てないで…



事実に関わりなく近い

ある子犬の物語①

ボクが生まれたあの日のこと、ご主人さんは今でも覚えているかな。降り注ぐやわらかい日差しに、目を開けることもできないボクたち。お母さんの温もりが最高の居場所だった。とても、落ち着いた気分になれた。

ご主人さんも「可愛いね」って抱きかかえてくれた。

ボクたち兄弟は、お母さんと仲良く遊び、毎日がすごく幸せだった。

でも最近、ご主人たちがボクたちを見る眼差しが、悲しそうなんだ。ボクたち、何か悪いことをしたのかな…。

ある日、ご主人さんの家でこんな話がされていたんだ。

「やっぱり私の家では、子犬は飼えないね。どこかに、引き取ってもらおうか」

「保健所に相談すれば、引き取ってもらえるんじゃないの？」

やつと分かった。ボクたちは、望まれない生命だったんだね。でも、どうしたらいいのかな。ボクはどうなるのかな。不安でいっぱいだよ。

おりこうさんにするから、ボクをどこへも連れて行かないで…。

何が原因なのか

特集

望まれない生命

悲しい物語が生まれる背景には、主に3つの理由が挙げられます。

1番目は、犬の過剰繁殖。2番目は飼う前の教育不足。そして3番目は、飼い主責任の不在。これらの問題について、一緒に考えてみましょう。